

令和6年度
女性支援事業のあらまし
(令和5年度実績)

沖縄県女性相談支援センター
沖縄県配偶者暴力相談支援センター

令和6年度女性支援事業のあらまし（令和5年度実績）

目次

はじめに-----	1
I 沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）の概要	
1 沿革-----	2
2 組織及び所掌事務	
(1) 組織図-----	4
(2) 職員構成-----	5
(3) 所掌事務-----	6
3 業務の内容-----	7
4 相談経路図-----	9
5 職員研修-----	10
6 啓発活動-----	11
II 女性保護業務の実績	
7 相談状況	
(1) 相談状況（年次推移）-----	12
(2) 相談状況（事務所別）-----	13
(3) 相談状況（居住地別）-----	14
(4) 相談状況（関係機関との連携）-----	15
8 来所相談の状況	
(1) 来所相談状況（経路別）-----	16
(2) 来所相談状況（主訴別）-----	17
(3) 来所相談状況（年齢別）-----	18
(4) 来所相談状況（職業別）-----	18
(5) 来所相談状況（処理別）-----	19
(6) 来所相談状況（売春関係）-----	19

9 電話相談の状況

(1) 電話相談状況（経路別）	20
(2) 電話相談状況（主訴別）	21
(3) 電話相談状況（年齢別）	22
(4) 電話相談状況（処理別）	22

10 こころの相談の実施状況	23
----------------	----

11 法律相談の実施状況	24
--------------	----

12 一時保護の状況

(1) 一時保護状況（年次推移）	25
(2) 一時保護状況（主訴別）	26
(3) 一時保護状況（年齢別）	27
(4) 一時保護状況（経路別）	28
(5) 一時保護状況（相談・同行支援等）	28
(6) 一時保護状況（退所先）	28
(7) 一時保護状況（在所期間）	29
(8) 一時保護状況（同伴児の学習指導・保育）	30

Ⅲ 配偶者暴力相談支援センター（配暴センター）の状況

13 配暴センター相談の状況

(1) 配暴センター相談状況（相談件数）	31
(2) 配暴センター相談状況（来所・経路別）	32
(3) 配暴センター相談状況（来所・年齢別）	32
(4) 配暴センター相談状況（電話・経路別）	33
(5) 配暴センター相談状況（電話・年齢別）	33

14 保護命令関係	34
-----------	----

15 沖縄県 DV 被害者自立支援事業	35
---------------------	----

16 若い世代における恋人からの暴力（デート DV）に係る相談状況	36
-----------------------------------	----

はじめに

沖縄県の女性支援事業の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本県では、昭和47年に女性相談支援センターの前身である婦人相談所（H8.4.1「女性相談所」に名称変更）を旧売春防止法に基づき設置し、女性保護事業に取り組んでまいりました。

近年、女性の抱える問題が多様化、複雑化している中、支援を必要とする女性が抱えている問題やその背景、心身の状況等に応じた適切な支援を包括的に提供し、女性が安心かつ自立して暮らせる社会の実現に寄与することを目的として、令和4年5月「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立、令和6年4月1日に施行され、女性相談所は女性相談支援センターとしてスタートしました。

今後は、新たな法律のもと、女性の人権の擁護・福祉の増進や自立支援等を基本理念として、関係機関との連携を図るとともに、女性支援の中核施設としての役割を果たしていくこととしております。

令和5年度の相談件数は、当センター及び各福祉事務所合わせて4,172件となり、相談内容は、配偶者等からの暴力をはじめ、離婚問題、精神的問題、経済問題など多岐にわたっております。

今後も、様々な問題を抱えた女性に寄り添い、本人の意思を尊重しながら、安心・安全の確保そして自立した生活の支援等につなげるため、市町村、関係機関、関係団体等と緊密な連携を図って参りますので、引き続き皆様の御支援、御協力をお願い申し上げます。

令和6年8月

沖縄県女性相談支援センター所長 伊波 裕子

I 沖縄県女性相談支援センター（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）の概要

1 沿革

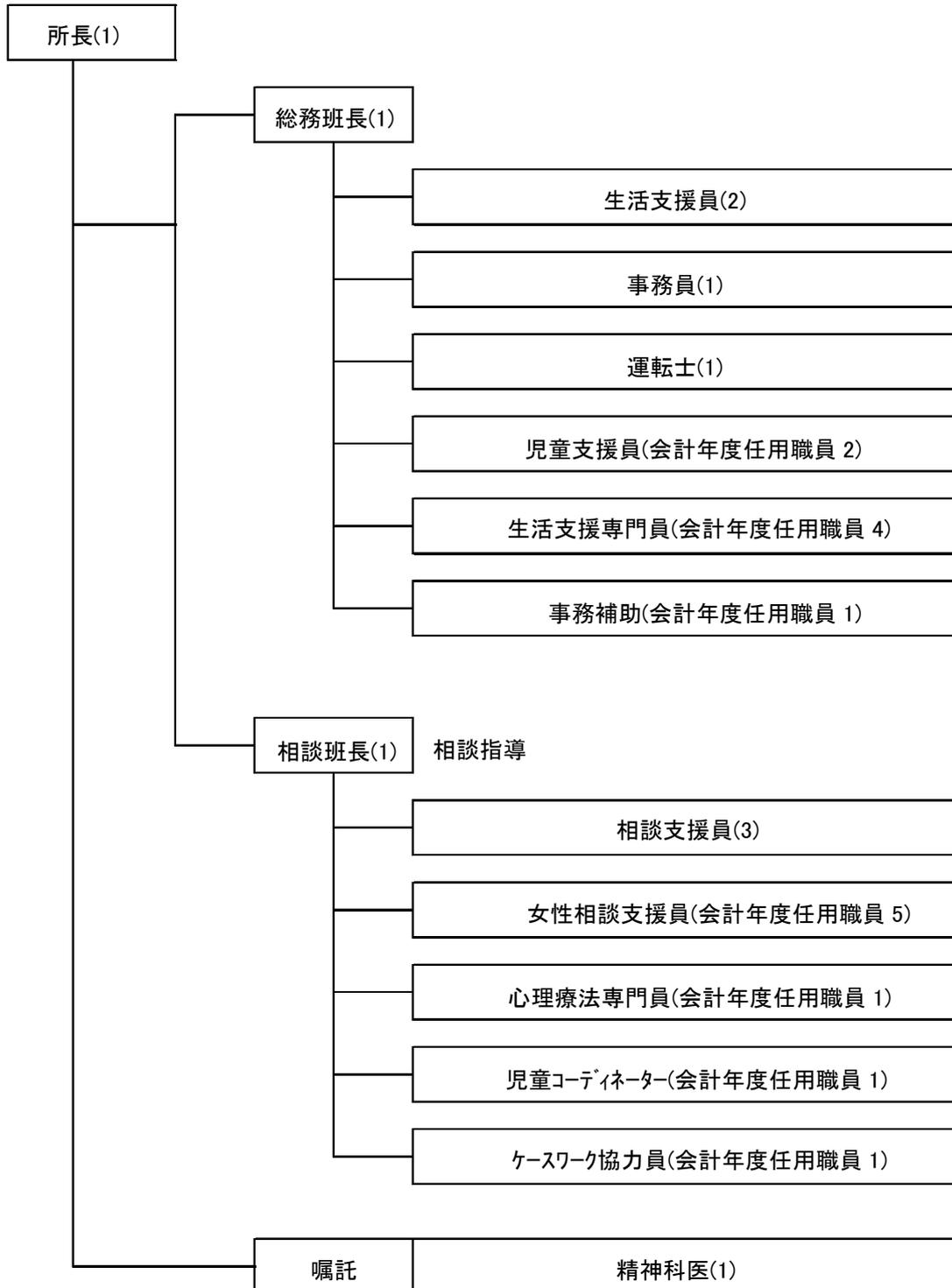
昭和 45 年	7/10	立法第 93 号により売春防止法が公布される
昭和 46 年	11/1	婦人相談員 7 名発令 各福祉事務所に配置 (南部・中部各 2 名、北部・宮古・八重山各 1 名)
昭和 47 年	1 月	(旧) 建物工事着工
	5/15	本土復帰により売春防止法全面適用、婦人相談所設置 所長他職員 12 名発令
	5/29	業務開始、一時保護所（定員 9 名）設置
	8/1	守衛 3 名設置
昭和 48 年	6/15	管理課、相談指導課の 2 課設置
昭和 49 年	3/29	一時保護所増築（定員 20 名）
昭和 53 年	6/1	婦人相談員 5 名が婦人相談所職員として定員化
昭和 55 年	4/1	電話相談の開始
平成 5 年	10/29	沖縄県売春対策推進委員設置規則（昭和 47 年沖縄県規則第 133 号）が 廃止され、沖縄県婦人福祉推進員設置規程（平成 5 年沖縄県訓令第 30 号）が施行される
	11/25	(旧) 事務所及び (旧) 一時保護所改修工事完了
平成 6 年	1/6	婦人福祉推進員発令
	1/10	土・日・祝祭日の電話相談開始（12 月 29 日～1 月 3 日を除く）
平成 7 年	4/1	沖縄県婦人相談所生活指導専門員設置規程（平成 7 年沖縄県訓令第 13 号）施行
平成 8 年	4/1	沖縄県女性相談所に名称変更
平成 10 年	4/1	沖縄県婦人福祉推進員設置規程改正により婦人福祉推進員から女性福 祉推進員へ名称変更
平成 12 年	4/1	沖縄県行政組織規則（昭和 49 年沖縄県規則第 18 号）の改正に伴い、 課制（管理課、相談指導課）廃止
平成 14 年	4/1	配偶者暴力相談支援センターの機能付与
平成 16 年	4/1	児童指導員設置（1 名）
平成 17 年	4/1	生活指導員 1 名増
	7/15	新庁舎竣工
平成 18 年	4/1	北部・宮古・八重山福祉保健所に配偶者暴力相談支援センターの機能

		付与
平成 19 年	4/1	沖縄県女性福祉推進員設置規程の廃止 調理士 1 名増
平成 21 年	4/1	調理士 1 名増
平成 23 年	4/1	沖縄県婦人相談員設置規程（昭和 62 年沖縄県訓令第 7 号）改正により 婦人相談員から女性相談員へ名称変更 中部・南部福祉保健所に配偶者暴力相談支援センターの機能付与 （女性相談員各 1 名配置）
平成 24 年	4/1	児童指導員 1 名増、中部福祉保健所女性相談員 1 名増
平成 27 年	4/1	女性相談所 女性相談員 1 名増 北部福祉保健所 女性相談員 1 名増 中部福祉保健所 女性相談員 1 名増
平成 28 年	4/1	福祉保健所が福祉事務所と保健所へ組織変更 沖縄県行政組織規則の改正により総務班、相談班の 2 班体制へ移行 調理士 1 名減、調理専門員（一般職非常勤職員）2 名増 児童指導員、生活指導専門員、女性相談員及び心理療法専門員が嘱託 員から一般職非常勤職員に変更
平成 30 年	4/1	生活指導専門員 1 名増
令和 2 年	4/1	女性相談員、児童指導員、生活指導専門員、調理専門員、心理療法専 門員が一般職非常勤職員から会計年度任用職員に変更 会計年度任用職員の児童コーディネーター 1 名増、ケースワーク協力 員 1 名増。嘱託の弁護士 2 名は委託へ変更
令和 3 年	4/1	会計年度任用職員の事務補助が 1 名増
令和 4 年	4/1	調理業務は委託へ 調理士 1 名減、会計年度任用職員の調理専門員 4 名減
令和 6 年	4/1	困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の施行 沖縄県女性相談所から沖縄県女性相談支援センターへ名称変更

2 組織及び所掌事務

2-(1) 組織図（令和6年4月1日現在）

総人数：26人（職員10人、会計年度任用職員15人、嘱託1人）



（ ）内の数字は人数

2-(2) 職員構成（令和6年4月1日現在）

（単位：人）

		人数	内訳		
			常勤	非常勤	嘱託
所長		1	1	-	-
総務班	班長	1	1	-	-
	生活支援員	2	2	-	-
	事務員	1	1	-	-
	運転士	1	1	-	-
	児童支援員	2	-	2	-
	生活支援専門員	4	-	4	-
	事務補助	1	-	1	-
	小計	12	5	7	-
相談班	班長	1	1	-	-
	相談支援員	3	3	-	-
	女性相談支援員	5	-	5	-
	心理療法専門員	1	-	1	-
	児童コーディネーター	1	-	1	-
	ケースワーク協力員	1	-	1	-
	小計	12	4	8	-
精神科医		1	-	-	1
合計		26	10	15	1

2-(3) 所掌事務

<p>総務班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算に関すること。 ● 施設管理に関すること。 ● 庶務に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族の緊急時の安全確保及び一時保護に関すること。
<p>相談班</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 困難な問題を抱える女性に関する各般の問題の相談及び相談機関の紹介に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族の緊急時の安全確保に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族の心身の健康の回復を図るための医学的又は心理学的な援助等に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族が自立して生活することを促進するための必要な支援、情報提供、助言、関係機関との連絡調整その他の援助に関すること。 ● 困難な問題を抱える女性及びその同伴する家族が居住して保護を受けることができる施設の利用についての援助等に関すること。 ● 配偶者暴力相談支援センターに関すること。

3 業務の内容

女性が抱える問題は、生活困窮、配偶者等からの暴力、家庭問題の破綻など複雑多様化している。支援にあたっては、相談者本人の意思を尊重しながら最適な支援に努め、その心身の健康の回復と安全確保及び人権の擁護に努めることが最も重要である。したがって、支援の進め方については、あくまでも相談者の意思を尊重して相談者に寄り添い、共に考えていく姿勢が求められる。また、相談者が自己決定するための情報や選択肢の提示を含めた意思決定の支援等を行うことが必要である。

以上を踏まえ、女性相談支援センターの業務内容は、次のとおりとしている。

(1) 相談

本人の意思を尊重し最適な支援に努め、心身の健康の回復と安全安心の確保及び人権の擁護に努める。

また、配偶者暴力相談支援センター（県の各福祉事務所）や関係機関と連携をとりながら、DV被害者の相談にあたる。

なお、これらの相談のうち、法律による解決が必要とされるケースや精神科医の判断が必要なケース等については、弁護士（委託）や精神科医（嘱託）の面談などを行っている。

【受付時間】 年末年始を除く下記の時間

相談の方法	相談時間
① 電話による相談 幅広く女性からの相談に応じられるよう、土日・祝日も女性相談支援員による電話相談を行っている。	月～金曜日 8:30～17:15
	土・日・祝日 8:30～12:00 13:00～16:30
② 来所による相談 来所する相談者に対し、女性相談支援員が相談を受けている。	月～金曜日 8:30～17:15 (受付は原則 16:00 まで)

(2) 調査・判定

本人及びその家庭環境などについて、必要な調査及び関係機関との調整を行っている。

また、処遇にあたり内在している心理的、精神的、身体的な問題を理解し支援するために、医学的、心理学的判定等を実施している。

(3) 一時保護

一時保護は、次の場合に「受理会議」を経て決定し、行動観察、自立支援を行っている。

- ① 配偶者等からの暴力により、適当な落ち着き先がなく、危害が及ぶことを防ぐため緊急に保護が必要である場合。
- ② 女性自立支援施設への入所、他の関係諸機関への移送等の措置がとられるまでに一定期間の保護が必要な場合。

- ③ 短期間の入所による保護、支援が必要である場合。
- ④ 心身の健康回復が必要であると認められる場合。

一時保護所入所者に対しては、衣食、その他日常生活に必要な物を給付する。

定員は 20 名、保護期間は支援するに当たっての適当な期間とし、2 週間を目途に支援を行っている。

(4) 自立支援

問題を抱えた相談者が、自分でその問題を解決できるように情報の提供や助言、又は社会資源の活用等により、自立に向けた支援を行う。

(5) 女性自立支援施設への入退所の決定

長期にわたり生活支援、保護が必要であると認められた者は、本人の申請により、女性自立支援施設に入所決定を行う。

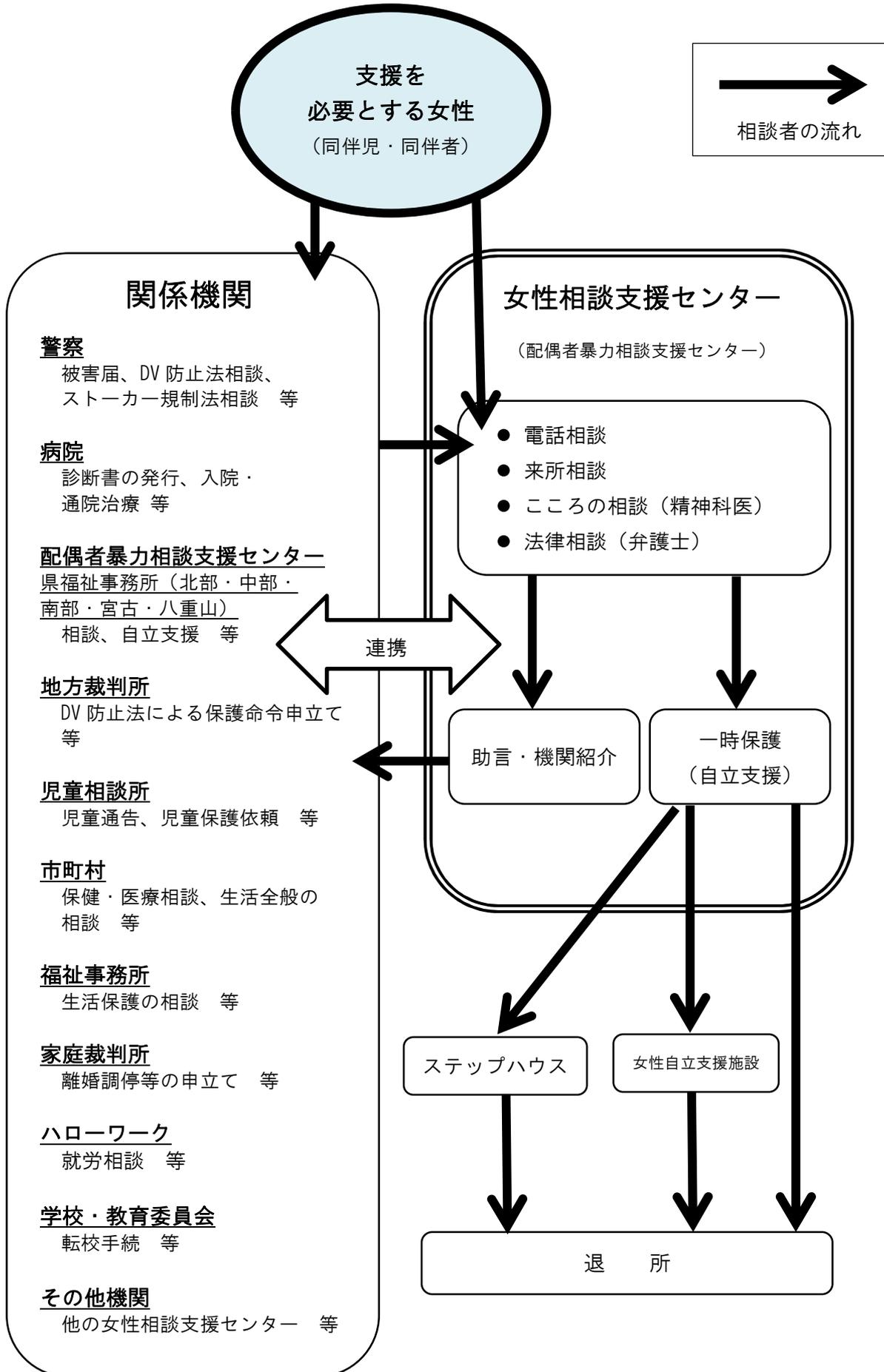
(6) 啓発活動

女性支援事業の県民への周知を図るため、業務概要の配布、リーフレットによる広報等を行っている。

(7) 関係機関との連携

女性支援事業の円滑な推進のため、女性自立支援施設や両児童相談所との定期連絡会の実施や要保護児童対策地域協議会等へ参加するなど連携を図っている。

4 相談経路図



5 職員研修

【令和5年度職員等研修参加実施状況】

No	研修テーマ	開催日	講師	研修対象	参加者数
1	女性相談所職員研修 ● 女性相談所の役割 ● 女性相談員の業務 ● 女性相談所の業務	R5 4/28	女性相談所所員	女性相談所 新任職員 各配偶者暴力談 支援センター	27人
2	アルコール依存症支援者研 修会	R5年 7/12	特定非営利活動 法人RPP研究 会理事高野嘉之	依存症支援関係 者等（ZOOM によるオンライ ン研修）	4人
3	相談員研修会（女性の翼O K基金）	R5年 7/28	琉球大学人文社 会学部人間社会 学 科 教 授 本村真	母子生活支援施 設、一時保護所 等に従事する支 援員等	3人
4	沖縄県犯罪被害者等支援庁 内関係課職員研修会	R5年 8/17	消費くらし安全 課、交通事故被 害者、被害者支 援ゆいセンター 所員	被害者支援関係 者等	2人
5	令和5年度女性関連施設相 談員・相談事業担当者研修	R5年 8/25～ 8/26	名古屋市スポー ツ市民局男女等 参画推進室主査 他	女性センター等 の女性関連施設 等にかかわって いる相談員等	1人
6	全国婦人相談員、心理判定 員研究協議会	R5年 10/12 ～ 10/13	厚生労働省社 会・援護局総務 課女性支援室女 性保護専門官 他	全国婦人相談員 等	3人 派遣 (2人)
7	児童相談所等相談機関関係 職員研修	R5年 10/20	Felien（フェリ ン）副所長津村 薫 、 講師 森崎和代	児童相談・女性 相談等相談員	5人
8	動機付け面接のスキル	R5年 10/17	東京都済生会中 央病院、野村総 合研究所統括産 業 医 村田千里	依存症支援関係 者等	5人
9	九州ブロック婦人保護担当 者会議	R5年 11/22	琉球大学法科大 学院教授矢野恵 美	県内女性相談関 係者	7人

10	婦人相談所等指導者研修	R5年 11/27 ～12/1	国立保健医療科 学院講師等	暴力・虐待等の 被害をうけた母 子に対する保護 支援機関の指導 職員等	1人
11	悪質ホストクラブ問題に関 する研修会	R5 .12/21	厚生労働省（オ ンライン）	女性相談員等	9人
12	女性支援新法フォーラム	R6年 1/26	厚生労働省（オ ンライン）	女性相談員等	4人
13	児童相談所・女性相談所合 同研修会	R6年 2/19	沖縄大学 福祉 文化学科 教授 名城 健一	児相・女相職員	8人

6 啓発活動

【令和5年度 市町村・関係機関等研修会・講座への講師派遣状況】

No	会議等名称	開催日	テーマ及び内容	対象者
1	相談員基礎研修	R5 6/9	女性相談所の役割と連 携 ～沖縄県におけるDVの 現状～	男女共同参画関係機関相 談員及び県・市町村支援 機関の相談業務に携わる 者 (参加人数 116 名)
2	DV 被害について知る・考 える学習会	R5年 6/21	女性相談所の役割 沖 縄県のDVの現状	沖縄県労働金庫労働組合 (参加人数 22名)
3	人身安全関連事案対策専 科教養	R5年 7/12	女性相談所の役割と連 携（警察署との連携に よる被害者対策）	沖縄県警察学校 人身安全関連事案対策専 科教養学生（17名）
4	被害者支援専科における 資質向上のための研修	R5年 7/25	女性相談所における被 害者支援	各警察署の被害者支援業 務担当する警察官（14 名）

Ⅱ 女性保護業務の実績

7 相談状況

7-1) 相談状況（年次推移）

令和5年度の女性相談所及び各福祉事務所の相談件数の合計は、前年度に比べ増加している。相談のうち、DVに関する内容を含むものは、相談全体の73%を占めている。

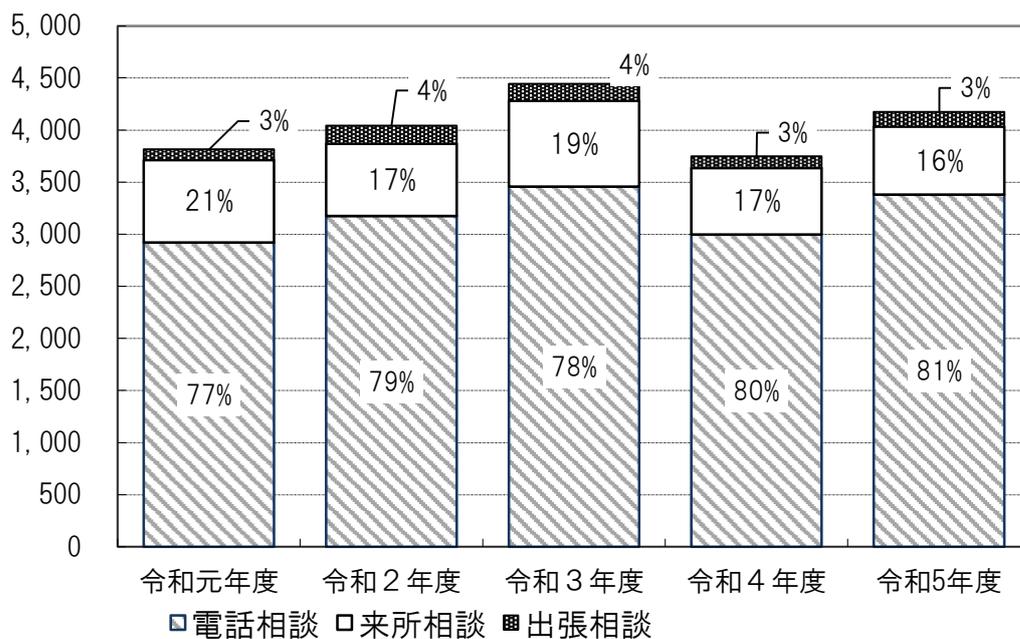
※ 下表は、女性相談所及び各福祉事務所で受けた相談の合計数

（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電話相談	2,920 (1,904)	3,173 (2,177)	3,456 (2,604)	2,996 (2,121)	3,379 (2,330)
来所相談	791 (691)	695 (628)	823 (754)	639 (583)	653 (608)
出張相談	103 (87)	173 (155)	165 (163)	111 (108)	140 (139)
合計	3,814 (2,682)	4,041 (2,960)	4,444 (3,521)	3,746 (2,812)	4,172 (3,077)

（ ）内は、相談内容にDVを含む者の再掲

相談状況年次推移



※ 割合 (%) の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

7-(2) 相談状況（事務所別）

県には、女性相談員（会計年度任用職員）が13人（女性相談所5人、中部福祉事務所4人、北部福祉事務所、南部福祉事務所、宮古福祉事務所、八重山福祉事務所は各1人）が配置され、来所や電話、出張により相談に対応している。

【令和5年度実績】

相談状況（事務所別）

（単位：件）

事務所	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計
電話相談	2,003	157	791	78	241	109	3,379
	(1,105)	(142)	(754)	(59)	(162)	(108)	(2,330)
来所相談	170	38	239	74	59	73	653
	(163)	(38)	(234)	(56)	(45)	(72)	(608)
出張相談	14	24	26	1	10	65	140
	(14)	(24)	(26)	(1)	(9)	(65)	(139)
合計	2,187	219	1,056	153	310	247	4,172
	(1,282)	(204)	(1,014)	(116)	(216)	(245)	(3,077)

（ ）内は、相談内容にDVを含む者の再掲

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談所（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

7-(3) 相談状況（居住地別）

相談者の居住地は、下表のとおり。

【令和5年度実績】

（単位：件）

市町村名	来所		電話		出張		合計	
		内DV		内DV		内DV		内DV
那覇市	57	53	395	245	9	9	461	307
宜野湾市	34	32	582	123	-	-	616	155
石垣市	73	72	129	123	65	65	267	260
浦添市	32	32	135	119	1	1	168	152
名護市	32	32	143	126	14	14	189	172
糸満市	15	14	107	86	1	1	123	101
沖縄市	101	100	435	392	18	18	554	510
豊見城市	4	4	75	58	-	-	79	62
うるま市	28	28	143	123	3	3	174	154
宮古島市	53	39	255	178	9	8	317	225
南城市	8	8	88	69	-	-	96	77
国頭村	-	-	9	1	-	-	9	1
大宜味村	1	1	1	1	-	-	2	2
東村	-	-	-	-	-	-	-	-
今帰仁村	2	2	23	19	5	5	30	26
本部町	5	5	54	50	4	4	63	59
恩納村	1	1	8	6	-	-	9	7
宜野座村	8	8	25	19	2	2	35	29
金武町	4	3	21	9	-	-	25	12
伊江村	1	1	1	1	-	-	2	2
読谷村	12	12	46	39	-	-	58	51
嘉手納町	20	20	57	52	2	2	79	74
北谷町	14	14	79	73	2	2	95	89
北中城村	6	6	33	20	-	-	39	26
中城村	15	12	80	71	-	-	95	83
西原町	29	23	87	78	3	3	119	104
与那原町	19	17	48	37	1	1	68	55
南風原町	36	29	57	37	-	-	93	66
渡嘉敷村	-	-	1	1	-	-	1	1
座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-
粟国村	-	-	-	-	-	-	-	-
渡名喜村	1	1	3	3	-	-	4	4
南大東村	-	-	2	1	-	-	2	1
北大東村	-	-	-	-	-	-	-	-
伊平屋村	-	-	-	-	-	-	-	-
伊是名村	-	-	-	-	-	-	-	-
久米島町	-	-	6	4	-	-	6	4
八重瀬町	31	29	70	60	-	-	101	89
多良間村	-	-	-	-	-	-	-	-
竹富町	-	-	1	-	-	-	1	-
与那国町	-	-	-	-	-	-	-	-
南部地区	-	-	1	-	-	-	1	-
中部地区	-	-	4	4	1	1	5	5
北部地区	-	-	-	-	-	-	-	-
県外	1	1	76	68	-	-	77	69
不定・不明	10	9	99	34	-	-	109	43
計	653	608	3,379	2,330	140	139	4,172	3,077

内DV＝相談内容にDVを含む者の再掲

7-(4) 相談状況（関係機関との連携）

女性相談所及び各福祉事務所で相談を受けた後、関係機関へ情報提供や調整等を行った件数は、市等他の婦人相談員が最も多く494件、次いで他の相談機関363件、警察261件の順となっている。

【令和5年度実績】

（単位：件）

事務所	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計
警察関係	69 (64)	16 (16)	137 (134)	- (-)	31 (20)	8 (8)	261 (242)
法務関係	6 (6)	35 (35)	76 (76)	- (-)	36 (33)	10 (10)	163 (160)
他府県の婦人相談所	2 (2)	46 (46)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	49 (49)
他の婦人相談員	273 (249)	35 (35)	141 (138)	- (-)	31 (19)	14 (14)	494 (455)
福祉事務所	82 (70)	3 (3)	39 (38)	- (-)	17 (6)	1 (1)	142 (118)
他の相談機関	131 (113)	61 (61)	112 (104)	6 (5)	48 (23)	5 (5)	363 (311)
社会福祉施設等	7 (7)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	7 (7)
医療機関	7 (6)	2 (2)	- (-)	- (-)	4 (3)	8 (8)	21 (19)
教育関係	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (-)	7 (7)	10 (7)
労働関係	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	1 (1)
その他	16 (13)	2 (2)	40 (38)	- (-)	6 (1)	- (-)	64 (54)
計	593 (530)	200 (200)	545 (528)	6 (5)	176 (105)	55 (55)	1,575 (1,423)

（ ）内は、相談内容にDVを含むもの再掲

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談所（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

8 来所相談の状況

8-(1) 来所相談状況（経路別）

相談経路を見ると、本人自身が最も多く520件、次いで警察関係が40件となっている。

【令和5年度実績】

主訴別	相談経路	本人 自身	警察 関係	法務 関係	他府県 の婦人 相談所	他の 婦人 相談員	福祉 事務所	他の相談機関				社会 福祉 施設等	医療機関			教 育 関 係	労 働 関 係	縁 故 者 ・ 知 人 等	そ の 他	合 計
								児 童 相 談 所	民 生 委 員 他	そ の 他	小 計		保 健 所	医 療 施 設	小 計					
人間関係	夫等からの暴力	415	28	5	-	14	37	3	-	11	14	-	3	-	3	-	-	4	1	521
	薬物中毒・酒乱	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	離婚問題	48	-	-	-	1	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	51
	その他	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
	子どもからの暴力	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	養育困難	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	親の暴力	13	4	-	-	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	21
	その他の親族からの暴力	8	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	10
	その他	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	交際相手からの暴力	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	同性の交際相手からの暴力	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他の者からの暴力	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男女問題	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ストーカー被害	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
家庭不和	2	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
その他	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	
経済関係	生活困窮	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	サラ金・借金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	求職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療関係	病気	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	精神的問題	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	妊娠・出産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
住居問題	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
帰居先なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
不純異性交遊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヒモ・暴力団関係者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5条違反	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
売春強要	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
人身取引	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	520	40	5	-	16	38	6	-	16	22	-	3	-	3	-	-	6	3	653	
新規	72	10	3	-	2	3	2	-	5	7	-	2	-	2	-	-	1	1	101	
再来	448	30	2	-	14	35	4	-	11	15	-	1	-	1	-	-	5	2	552	

8-(2) 来所相談状況（主訴別）

令和5年度の相談の主訴は、「夫等からの暴力」が約8割(79.8%)を占めており、人間関係に係る相談が98.6%とほとんどを占めている。

		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		件数	比率	件数	比率	件数	比率	
人間 関係	夫等	夫等からの暴力	630件	76.5%	509件	79.7%	521件	79.8%
		薬物中毒・酒乱	-	-	2件	0.3%	2件	0.3%
		離婚問題	79件	9.6%	36件	5.6%	51件	7.8%
		その他	13件	1.6%	10件	1.6%	5件	0.8%
	子ども	子どもからの暴力	4件	0.5%	10件	1.6%	5件	0.8%
		養育困難	1件	0.1%	-	-	-	-
		その他	10件	1.2%	6件	0.9%	7件	1.1%
	親族	親の暴力	18件	2.2%	10件	1.6%	21件	3.2%
		その他の親族からの暴力	9件	1.1%	7件	1.1%	10件	1.5%
		その他	-	-	1件	0.2%	3件	0.5%
	交際相手	交際相手からの暴力	14件	1.7%	16件	2.5%	6件	0.9%
		同性の交際相手からの暴力	-	-	-	-	1件	0.2%
		その他	1件	0.1%	2件	0.3%	-	-
	その他の者からの暴力	8件	1.0%	5件	0.8%	-	-	
	男女問題	3件	0.4%	1件	0.2%	1件	0.2%	
	ストーカー被害	1件	0.1%	4件	0.6%	2件	0.3%	
	家庭不和	1件	0.1%	-	-	4件	0.6%	
	その他	1件	0.1%	2件	0.3%	5件	0.8%	
	小計	793件	96.4%	621件	97.2%	644件	98.6%	
	経済 関係	生活困窮	3件	0.4%	2件	0.3%	4件	0.6%
サラ金・借金		-	-	-	-	-	-	
求職		-	-	-	-	-	-	
その他		2件	0.2%	4件	0.6%	-	-	
医療 関係	病気	1件	0.1%	-	-	-	-	
	精神的問題	14件	1.7%	5件	0.8%	3件	0.5%	
	妊娠・出産	-	-	1件	0.2%	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	
住居問題	8件	1.0%	1件	0.2%	1件	0.2%		
帰宅先なし	1件	0.1%	5件	0.8%	-	-		
不純異性交遊	-	-	-	-	-	-		
売春強要	1件	0.1%	-	-	1件	0.2%		
ヒモ・暴力団関係者	-	-	-	-	-	-		
5条違反	-	-	-	-	-	-		
人身取引	-	-	-	-	-	-		
合計	823件	100.0%	639件	100.0%	653件	100.0%		

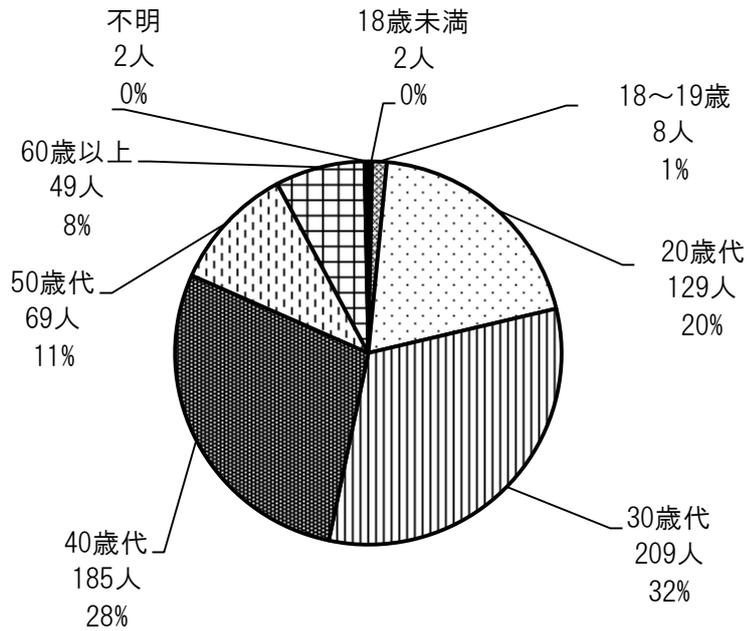
※ 比率の小数点第2位を四捨五入しているため、小計が一致しない場合がある。
 ※ 主訴は、相談の内容として主なものを計上するため、夫等の暴力の件数とDVの件数が一致しない場合がある。

8-(3) 来所相談状況（年齢別）

来所者の年齢は、30歳代が最も多く、20歳代から40歳代で約8割(80.1%)を占めている。

【令和5年度実績】

年代	人数
18歳未満	2人
18～19歳	8人
20歳代	129人
30歳代	209人
40歳代	185人
50歳代	69人
60歳以上	49人
不明	2人
合計	653人



※ 割合 (%) の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある

8-(4) 来所相談状況（職業別）

来所者の職業は、サービス業（その他）が179人(27.4%)で最も多く、次いでその他の職業が145人(22.2%)となっている。また、未就業者（専業主婦・無職）も213件(32.6%)を占めており、経済基盤が弱く、問題解決の困難性をうかがわせる結果となっている。

【令和5年度実績】

職業		人数
事務従業者		45人
販売従業者		29人
工員		5人
サービス業	風俗営業関係	4人
	その他	175人
その他の職業		145人
専業主婦		82人
学生		13人
無職	ホームレス	0人
	その他	131人
不明		24人
合計		653人

8-(5) 来所相談状況（処理別）

令和5年度受付の653件について、来所相談の処理状況は、次のとおりである。

【令和5年度実績】

受付件数		処 理 件 数													合 計	本 年 度 未 処 理 件 数	
前 年 未 処 理 件 数	本 年 受 付 件 数	婦 人 保 護 施 設 入 所	就 職 ・ 自 営	帰 宅	福 祉 保 健 所 へ	他 の 婦 人 相 談 員 へ	他 府 県 の 婦 人 相 談 所 ・	婦 人 相 談 員 へ	そ の 他 の 関 係 機 関 施 設 へ	ア パ ー ト 借 住 居 退 所	縁 故 者 ・ 知 人 宅 へ 退 所	助 言 指 導 の み	医 療 機 関	強 制 退 所			無 断 退 所
0	653	0	0	0	0	9	0	50	0	0	554	2	0	0	38	653	0

8-(6) 来所相談状況（売春関係）

原因別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経済的理由	-	1件	-	-	-
家庭的理由	-	-	-	-	-
売春強要	1件	1件	1件	1件	1件
本人自身	-	-	-	-	-
その他	-	-	1件	-	-
計	1件	2件	2件	1件	1件

※ 現に売春を行っている者のみの計上。

9 電話相談の状況

9-(1) 電話相談状況（経路別）

各年度とも本人自身による相談が最も多く、令和5年度は約6割(64%)となっている。

（単位：件）

区分 \ 年度	R元	R2	R3	R4	R5	
本人自身	2,007	2,111	2,251	1,820	2,156	64%
警察関係	116	136	134	206	225	7%
法務関係	56	38	67	40	66	2%
他の婦人相談所	3	3	4	0	4	0%
他の婦人相談員	248	311	286	357	413	12%
福祉事務所	63	71	49	50	54	2%
他の相談機関	209	269	357	222	268	8%
社会福祉施設等	10	7	9	10	6	0%
医療機関	53	40	9	32	27	1%
教育関係	8	21	12	10	4	0%
縁故者知人	139	159	184	124	99	3%
その他	8	7	94	125	57	2%
計	2,920	3,173	3,456	2,996	3,379	100%

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

9-(2) 電話相談状況（主訴別）

令和5年度の電話相談の主訴は、人間関係が約8割(81.7%)を占め、中でも「夫等からの暴力」が1,840件で電話相談全体の約5割(54.5%)を占めている。

		令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		件数	比率	件数	比率	件数	比率	
人間関係	夫等	夫等からの暴力	2,057件	59.5%	1,719件	57.4%	1,840件	54.5%
		薬物中毒・酒乱	11件	0.3%	7件	0.2%	12件	0.4%
		離婚問題	356件	10.3%	215件	7.2%	256件	7.6%
		その他	53件	1.5%	67件	2.2%	87件	2.6%
	子ども	子どもからの暴力	21件	0.6%	36件	1.2%	17件	0.5%
		養育困難	7件	0.2%	7件	0.2%	-	-
		その他	43件	1.2%	48件	1.6%	51件	1.5%
	親族	親の暴力	64件	1.9%	40件	1.3%	87件	2.6%
		その他の親族からの暴力	20件	0.6%	30件	1.0%	40件	1.2%
		その他	23件	0.7%	35件	1.2%	36件	1.1%
	交際相手	交際相手からの暴力	59件	1.7%	81件	2.7%	80件	2.4%
		同性の交際相手からの暴力	2件	0.1%	5件	0.2%	1件	0.0%
		その他	9件	0.3%	14件	0.5%	112件	3.3%
	その他の者からの暴力	29件	0.8%	26件	0.9%	24件	0.7%	
	男女問題	21件	0.6%	9件	0.3%	18件	0.5%	
	ストーカー被害	4件	0.1%	21件	0.7%	8件	0.2%	
	家庭不和	48件	1.4%	61件	2.0%	36件	1.1%	
	その他	19件	0.5%	41件	1.4%	55件	1.6%	
	小計		2,846件	82.3%	2,462件	82.2%	2,760件	81.7%
経済関係	生活困窮	40件	1.2%	23件	0.8%	35件	1.0%	
	サラ金・借金	2件	0.1%	5件	0.2%	4件	0.1%	
	求職	-	-	-	-	4件	0.1%	
	その他	16件	0.5%	17件	0.6%	15件	0.4%	
小計		58件	1.7%	45件	1.5%	58件	1.7%	
医療関係	病気	-	-	-	-	3件	0.1%	
	精神的問題	488件	14.1%	430件	14.4%	504件	14.9%	
	妊娠・出産	2件	0.1%	-	-	2件	0.1%	
	その他	1件	0.0%	8件	0.3%	3件	0.1%	
小計		491件	14.2%	438件	14.6%	512件	15.2%	
住居問題		50件	1.4%	31件	1.0%	30件	0.9%	
帰住先なし		10件	0.3%	19件	0.6%	17件	0.5%	
不純異性交遊		1件	0.0%	-	-	-	-	
売春強要		-	-	1件	0.0%	2件	0.1%	
ヒモ・暴力団関係		-	-	-	-	-	-	
5条違反		-	-	-	-	-	-	
人身取引		-	-	-	-	-	-	
合計		3,456件	100.0%	2,996件	100.0%	3,379件	100.0%	

※ 比率の小数点第2位を四捨五入しているため、小計が一致しない場合がある。

※ 主訴は、相談の内容として主なものを計上するため、夫等の暴力の件数とDVの件数が一致しない場合がある。

9-(3) 電話相談状況（年齢別）

相談者の年齢は、40歳代が多く、次いで30代、20歳代となっている。

【令和5年度実績】

年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	合計
人数	86人	513人	776人	1,173人	312人	276人	243人	3,379人
割合	3%	15%	23%	35%	9%	8%	7%	100%

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

9-(4) 電話相談状況（処理別）

「助言指導」を行ったケースが2,737件で最も多く、他機関へ紹介したケースの内では、他の婦人相談員へつないだケースが一番多く56件となっている。

【令和5年度実績】

処理状況		件数	割合
助言指導		2,737件	81.0%
来所指示		242件	7.2%
他機関紹介	婦人相談員	56件	117件 3.5%
	福祉事務所	12件	
	市町村役場	14件	
	家庭裁判所	6件	
	児童相談所	0件	
	総合精神保健福祉センター	0件	
	保健所	1件	
	法律相談	12件	
	サラ金相談窓口	0件	
	カウンセリング	0件	
	医療機関	3件	
	警察	9件	
その他の機関	4件		
その他		283件	8.4%
合計		3,379件	100.0%

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

10 こころの相談の実施状況

症状の訴えがある時や相談、助言が必要なケースは、嘱託精神科医による「こころの相談」へつないでいる。対象は一時保護入所者及び来所者で、毎月2回実施している。また、ケースへの対応等について職員がコンサルテーションを受ける場合もある。

【令和5年度実績】

内容	入所者	来所者	計
心身の症状	6件	1件	7件
夫婦・家庭問題	1件	-	1件
診断	-	-	-
その他	2件	-	2件
同伴児	2件	-	2件
合計	11件	1件	12件
職員へのコンサルテーション	9件	-	9件

11 法律相談の実施状況

来所者及び一時保護入所者を対象とした法律相談を月2回実施している。

相談人数

20人（内訳 来所者11人、入所者9人）

相談内容別内訳

相談内容は53件中、離婚に関するものが42件(79.2%)を占めている。

【令和5年度実績】

相談内容		来所者	入所者	計
離婚に関する こと	手続（協議・調停・裁判）	6件	4件	10件
	子の親権	5件	2件	7件
	面接交渉	3件	-	3件
	財産分与	3件	-	3件
	養育費	7件	-	7件
	慰謝料	2件	1件	3件
	婚姻費用分担	3件	2件	5件
	戸籍	-	1件	1件
	その他	2件	1件	3件
	小計	31件	11件	42件
男女問題	子の認知	-	-	-
	慰謝料	-	1件	1件
	養育費	-	-	-
	その他	-	1件	1件
	小計	-	2件	2件
保護命令	1件	1件	2件	
相続	-	-	-	
住まいに関する こと	1件	-	1件	
借金に関する こと	-	4件	4件	
ストーカー行為に関する こと	-	-	-	
民事法律扶助に関する こと	-	-	-	
その他	1件	1件	2件	
合計	34件	19件	53件	

12 一時保護の状況

12-(1) 一時保護状況（年次推移）

令和5年度の一時保護入所者数は37人で、前年度に比べ16人減少している。宮古・八重山の離島及び本島北部の遠隔地における迅速な保護への対応として平成16年度から一時保護委託を実施しているが、令和5年度の委託実績は1人となっている。

（単位：人）

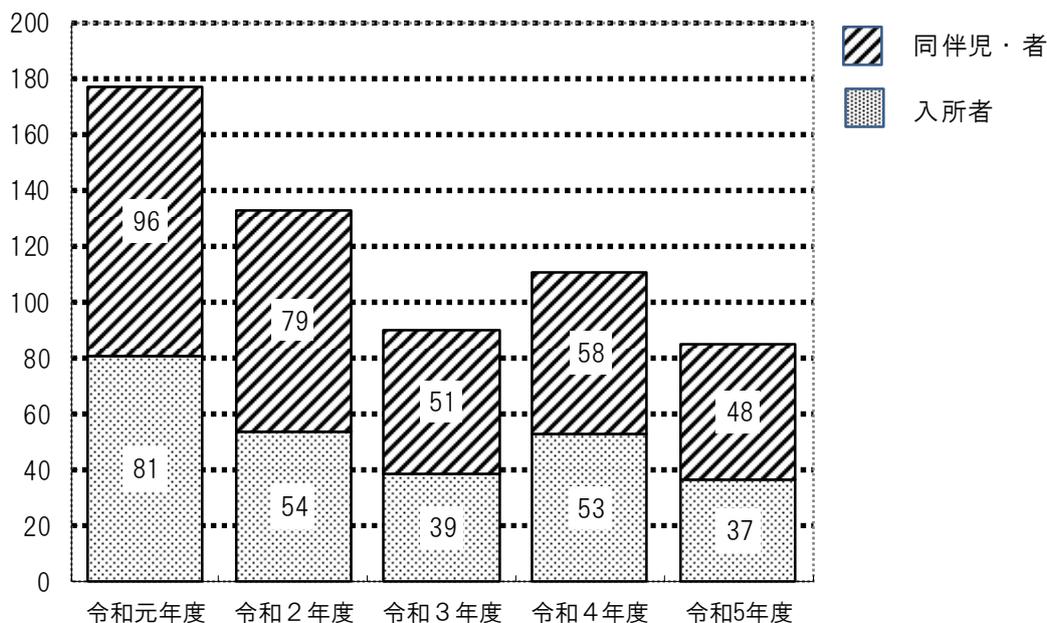
年度 区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	委託分 再掲
入所者	81 (61)	54 (44)	39 (32)	53 (48)	37 (31)	1
同伴児・者	96 (76)	79 (75)	51 (46)	58 (57)	48 (38)	0
合計	177 (137)	133 (119)	90 (78)	111 (105)	85 (69)	1

※（ ）は、DV案件の内数

※ 年度内実数で、年度繰越し等を含まない。

一時保護の年次推移

（単位：人）



12-(2) 一時保護状況（主訴別）

一時保護の主訴は、「夫等からの暴力」が最も多く、23人で6割（62%）を占めている。

【令和5年度実績】

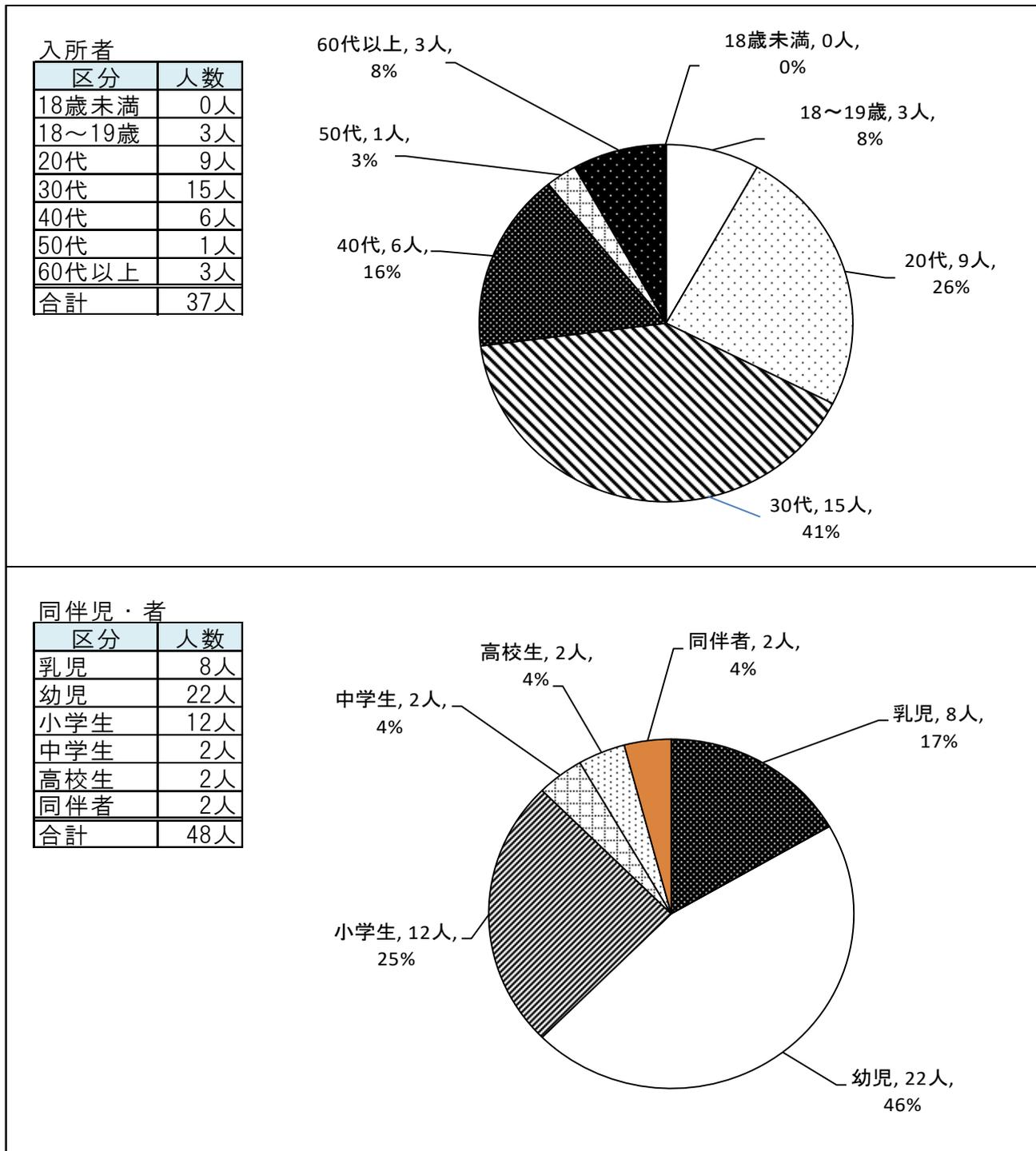
主訴		人数	割合
人間関係	夫等	夫等の暴力	23人 62%
		酒乱・薬物中毒	-
		離婚問題	-
		その他	-
	子ども	子どもの暴力	2人 5%
		養育不能	-
		その他	2人 5%
	親族	親の暴力	3人 8%
		その他の親族の暴力	2人 5%
		その他	-
	交際相手	交際相手からの暴力	1人 3%
		同性の交際相手からの暴力	-
		その他	-
		その他の者の暴力	-
		男女問題	-
		ストーカー被害	1人 3%
		家庭不和	-
		その他	-
		住居問題	-
	帰住先なし	2人 5%	
経済関係		生活困窮	-
		サラ金・借金	-
		求職	-
		その他	-
医療関係		病気	-
		精神的問題	-
		妊娠・出産	-
		その他	-
	不純異性交遊	-	
	売春強要	1人 3%	
	ヒモ・暴力団関係	-	
	5条違反	-	
	人身取引	-	
合計		37人	100%

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

12-(3) 一時保護状況（年齢別）

入所者の年齢層は30代が最も多く15人（41%）、次に多いのが20代で9人（26%）となっている。
 また、同伴児・者は幼児が22人（46%）で最も多く、ついで小学生12人（25%）となっている。

【令和5年度実績】



※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

12(4) 一時保護状況（経路別）

【令和5年度実績】

経路	人数	割合
本人	4人	11%
警察	16人	43%
他の婦人相談員	5人	14%
他の相談機関	6人	16%
福祉事務所	3人	8%
児童相談所	2人	5%
医療機関	-	0%
教育関係	-	0%
法務	-	0%
配偶者暴力相談支援センター	-	0%
その他	1人	3%
合計	37人	100%

一時保護所入所の経路は、警察経由の来所が16人（43%）と最も多くなっている。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

12(5) 一時保護状況（相談・同行支援等）

【令和5年度実績】

事務所	支援延件数	割合
女性相談所	414件	97.6%
北部福祉事務所		0.0%
中部福祉事務所		0.0%
南部福祉事務所		0.0%
宮古福祉事務所	10件	2.4%
八重山福祉事務所		0.0%
合計	424件	100.0%

一時保護（委託を含む。）中の入所者等からの相談や同行支援等については、女性相談所が414件と最も多い。宮古福祉事務所は一時保護委託中の支援となっている。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

12-(6) 一時保護状況（退所先）

【令和5年度実績】

処理状況	人数	割合	
前年度からの繰越人員	0人	0%	
今年度入所人員	37人	100%	
処理状況	婦人保護施設入所	3人	8%
	自立（アパートへの入所）	4人	11%
	帰宅	10人	27%
	帰郷・実家・縁故者宅へ	9人	24%
	病院へ	2人	5%
	他の婦人相談所へ	-	-
	その他の関係機関施設へ	4人	11%
	無断退所	-	-
	その他	4人	11%
合計	36人	97%	
次年度への繰越人員	1人	3%	

一時保護後の退所先としては、帰宅と帰郷・実家・縁故者宅へを合わせると19人（51.3%）で最も多い。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

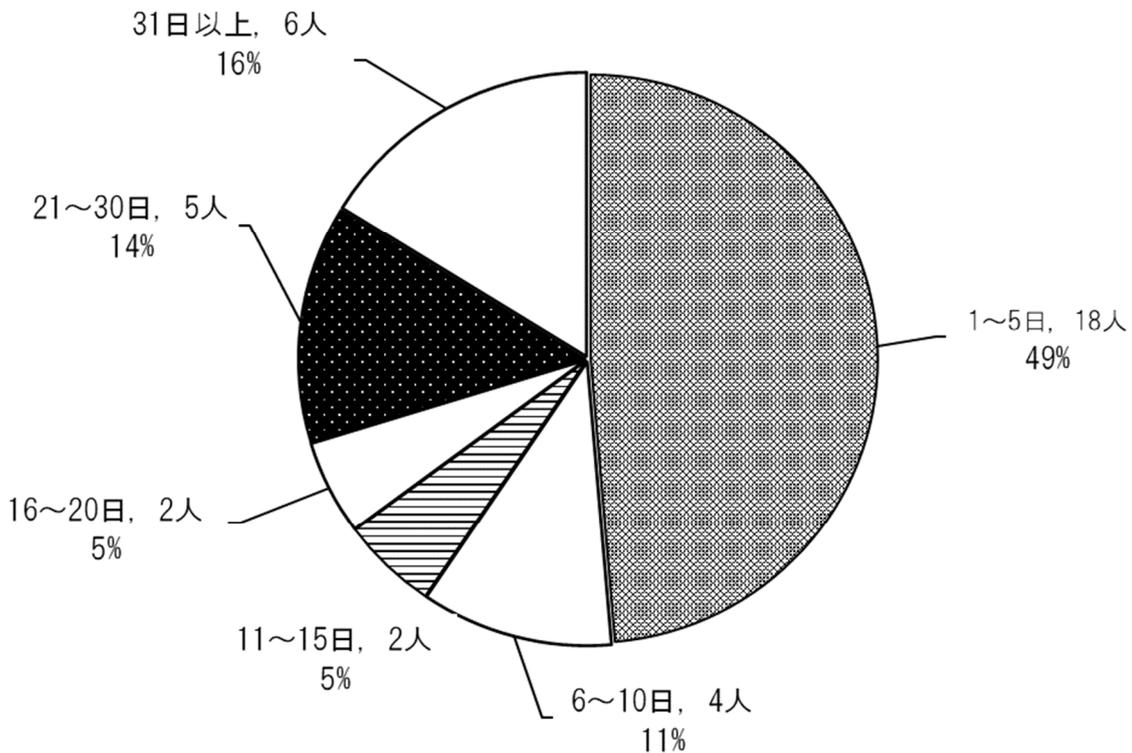
12-(7) 一時保護状況（在所期間）

平均在所期間は14.6日で、昨年度より0.9日減少した。15日以内で退所する者は、入所者の約7割(65%)となっている。中には1ヶ月以上入所する者もあり、入所者の心身や経済の状況、住宅確保の困難等種々の理由により、安全確保と自立までに、長期間滞在せざるを得ない状況を示している。

【令和5年度実績】

年度別 在所期間	1～5日	6～10日	11～15日	16～20日	21～30日	31日以上	合計		平均 在所日数 b÷a 日
	人員 a	延人員 b							
令和元年度	35人 (41%)	10人 (12%)	9人 (11%)	5人 (6%)	7人 (8%)	19人 (22%)	85人	1,331人	15.7日
令和2年度	19人 (35%)	3人 (6%)	5人 (9%)	6人 (11%)	8人 (15%)	13人 (24%)	54人	1,046人	19.4日
令和3年度	16人 (37%)	6人 (14%)	1人 (2%)	2人 (5%)	10人 (23%)	8人 (19%)	43人	707人	16.4日
令和4年度	21人 (40%)	5人 (9%)	7人 (13%)	6人 (11%)	6人 (11%)	8人 (15%)	53人	728人	13.7日
令和5年度	18人 (49%)	4人 (11%)	2人 (5%)	2人 (5%)	5人 (14%)	6人 (16%)	37人	539人	14.6日

【令和5年度実績】



※ 割合 (%) の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

12-(8) 一時保護状況（同伴児の学習指導・保育）

一日あたり平均約2.2人の同伴児が在所しており、保育を必要とする乳幼児が約6割(64%)を超えている。

【令和5年度実績】

	同伴児数		延べ数	1日当たり 平均人数	
	学習指導	保育			
4月	7人	2人	5人	89人	3.0人
5月	8人	1人	7人	58人	1.9人
6月	9人	5人	4人	67人	2.2人
7月	3人	2人	1人	84人	2.7人
8月	6人	4人	2人	123人	4.0人
9月	5人	2人	3人	65人	2.2人
10月	7人	4人	3人	85人	2.7人
11月	8人	5人	3人	135人	4.5人
12月	7人	0人	7人	22人	0.7人
1月	5人	0人	5人	62人	2.0人
2月	4人	0人	4人	24人	0.9人
3月	1人	0人	1人	7人	0.2人
総数	70人	25人 (36%)	45人 (64%)	821人	2.2人

※ 委託先同伴児を除く。

「学習指導」は、小・中学生。「保育」は、6歳以下の乳幼児。



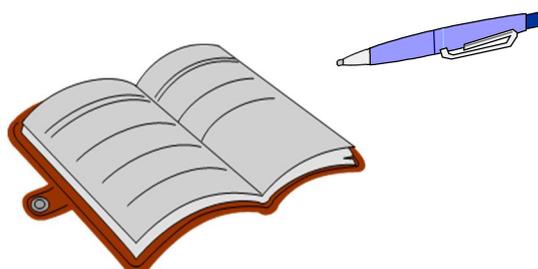
同伴児の学習指導について

同伴児は、入所期間中通学ができないため、児童指導員2名を配置し、学習指導等を強化している。小学生・中学生に対しては、2時間の学習時間を週5日間設け、生活のリズム、情緒の安定、学習意欲の維持及び向上を図っている。

小学生・中学生の日課

午前 9:30～11:30

国語・算数・理科・社会・英語のプリント学習



Ⅲ 配偶者暴力相談支援センター（配暴センター）の状況

13 配暴センター相談の状況

13-(1) 配暴センター相談状況（相談件数）

女性相談所と各福祉事務所の6か所に配偶者暴力相談支援センターの機能が付与されており、令和5年度は3,077件のDVに関する相談があった。

※ 相談件数は、本人以外の身内等からのものを含む。

【令和5年度実績】

区分 事務所別	来所		電話		出張・巡回		合計		合計
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	
沖縄県配偶者暴力 相談支援センター （女性相談所）	163	-	1,102	3	14	-	1,279	3	1,282
北部配偶者暴力 相談支援センター	38	-	139	3	24	-	201	3	204
中部配偶者暴力 相談支援センター	231	3	751	3	26	-	1,008	6	1,014
南部配偶者暴力 相談支援センター	55	1	57	2	1	-	113	3	116
宮古配偶者暴力 相談支援センター	45	-	160	2	9	-	214	2	216
八重山配偶者暴力 相談支援センター	72	-	108	-	65	-	245	-	245
合計	604	4	2,317	13	139	-	3,060	17	3,077

※ 内閣府男女共同参画局で集計し公表されている配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数は、被害者 本人からの相談件数となっているが、上記の件数は本人以外の身内等からの相談件数も含まれている。

13-(2) 配暴センター相談状況（来所・経路別）

来所相談の合計は608件、経路別では、本人自身からの相談が約8割(79.8%)を占めている。

【令和5年度実績】

経路	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
本人自身	118件	38件	188件	55件	32件	54件	485件	79.8%
警察関係	22件	-	4件	1件	3件	6件	36件	5.9%
法務関係	1件	-	-	-	2件	2件	5件	0.8%
他府県の婦人相談所	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
他の婦人相談員	9件	-	2件	-	2件	3件	16件	2.6%
福祉事務所	1件	-	36件	-	-	-	37件	6.1%
他の相談機関	児童相談所	-	-	-	-	3件	3件	0.5%
	民生委員	-	-	-	-	-	-	0.0%
	その他	9件	-	-	-	5件	15件	2.5%
	小計	9件	-	-	-	5件	18件	3.0%
社会福祉施設等	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
医療機関	保健所	-	-	2件	-	1件	3件	0.5%
	医療施設	-	-	-	-	-	-	0.0%
	小計	-	-	2件	-	1件	3件	0.5%
教育関係	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
労働関係	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
縁故者・知人等	2件	-	2件	-	-	1件	5件	0.8%
その他	1件	-	-	-	-	2件	3件	0.5%
合計	163件	38件	234件	56件	45件	72件	608件	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談所（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

13-(3) 配暴センター相談状況（来所・年齢別）

来所相談の年齢別状況は30歳代が203人と最も多く、次いで40歳代が172人となっている。

【令和5年度実績】

年齢別	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
18歳未満	-	-	1人	-	-	-	1人	0.0%
18～19歳	2人	-	-	-	-	-	2人	0.0%
20～29歳	30人	5人	69人	8人	1人	6人	119人	20.0%
30～39歳	69人	18人	63人	13人	19人	21人	203人	33.0%
40～49歳	41人	11人	71人	11人	11人	27人	172人	28.0%
50～59歳	10人	2人	21人	9人	8人	16人	66人	11.0%
60歳以上	11人	2人	8人	15人	5人	2人	43人	7.0%
不明	-	-	1人	-	1人	-	2人	0.0%
合計	163人	38人	234人	56人	45人	72人	608人	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談所（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（%）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

13-(4) 配暴センター相談状況（電話・経路別）

電話相談は合計2,330件、経路別では、本人自身からの相談が約5割(54.7%)を占めている。

【令和5年度実績】

経路別	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
本人自身	568件	88件	390件	31件	92件	106件	1,275件	54.7%
警察関係	113件	3件	57件	-	19件	-	192件	8.2%
法務関係	8件	4件	42件	-	8件	-	62件	2.7%
他府県の婦人相談所	-	-	-	-	-	1件	1件	0.0%
他の婦人相談員	192件	15件	134件	8件	24件	1件	374件	16.1%
福祉事務所	24件	17件	19件	-	2件	-	62件	2.7%
他の相談機関	児童相談所	20件	1件	5件	-	-	26件	1.1%
	民生委員	-	-	-	-	-	-	0.0%
	その他	99件	-	66件	17件	15件	197件	8.5%
	小計	119件	1件	71件	17件	15件	223件	9.6%
社会福祉施設等	5件	-	-	-	-	-	5件	0.2%
医療機関	保健所	-	1件	-	-	1件	2件	0.1%
	医療施設	13件	4件	2件	-	1件	20件	0.9%
	小計	13件	5件	2件	-	2件	22件	0.9%
教育関係	1件	-	-	-	-	-	1件	0.0%
労働関係	1件	-	-	-	-	-	1件	0.0%
縁故者・知人等	45件	6件	23件	3件	-	-	77件	3.3%
その他	16件	3件	16件	-	-	-	35件	1.5%
合計	1,105件	142件	754件	59件	162件	108件	2,330件	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談所（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

13-(5) 配暴センター相談状況（電話・年齢別）

年齢別状況は30歳代が最も多く674人（28.9%）となっており、次いで40歳代が612人（26.3%）となっている。

【令和5年度実績】

年齢別	女相	北部	中部	南部	宮古	八重山	計	割合
18歳未満	6人	-	1人	-	-	-	7人	0.3%
18～19歳	29人	-	3人	-	-	-	32人	1.4%
20～29歳	198人	24人	218人	9人	5人	5人	459人	19.7%
30～39歳	334人	57人	186人	5人	70人	22人	674人	28.9%
40～49歳	270人	32人	207人	11人	30人	62人	612人	26.3%
50～59歳	92人	15人	93人	12人	42人	10人	264人	11.3%
60歳以上	118人	5人	23人	9人	7人	1人	163人	7.0%
不明	58人	9人	23人	13人	8人	8人	119人	5.1%
合計	1,105人	142人	754人	59人	162人	108人	2,330人	100.0%

※ 表中「女相」は沖縄県女性相談所（沖縄県配偶者暴力相談支援センター）、「北部」、「中部」、「南部」、「宮古」、「八重山」は、沖縄県の各福祉事務所（各地区の配偶者暴力相談支援センター）を指す。

※ 割合（％）の数値は、端数処理の関係で誤差が生じる場合がある。

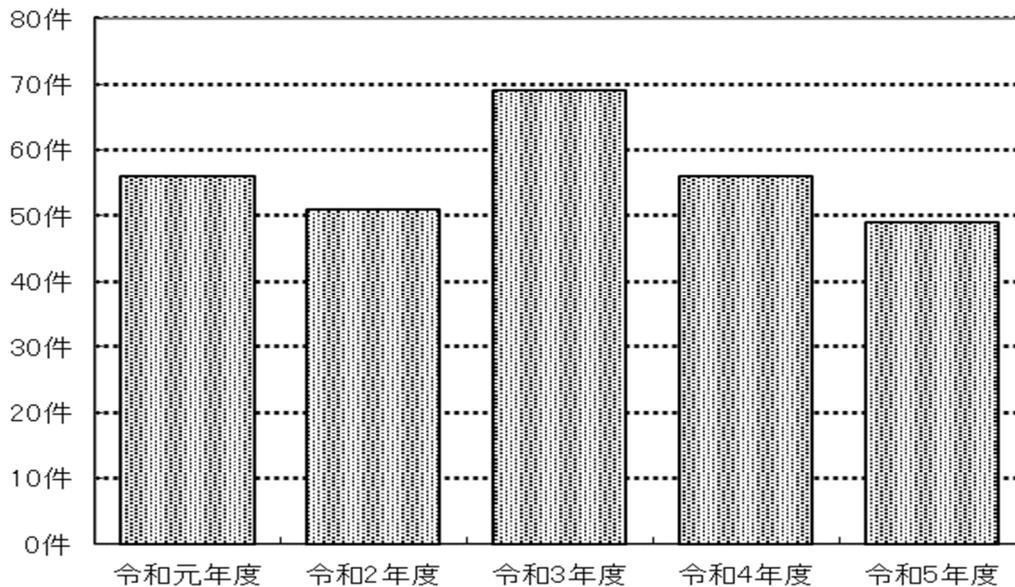
14 保護命令関係

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律第14条第2項に基づき、保護命令において管轄する地方裁判所からの求めに応じ、書面提出を行っている。

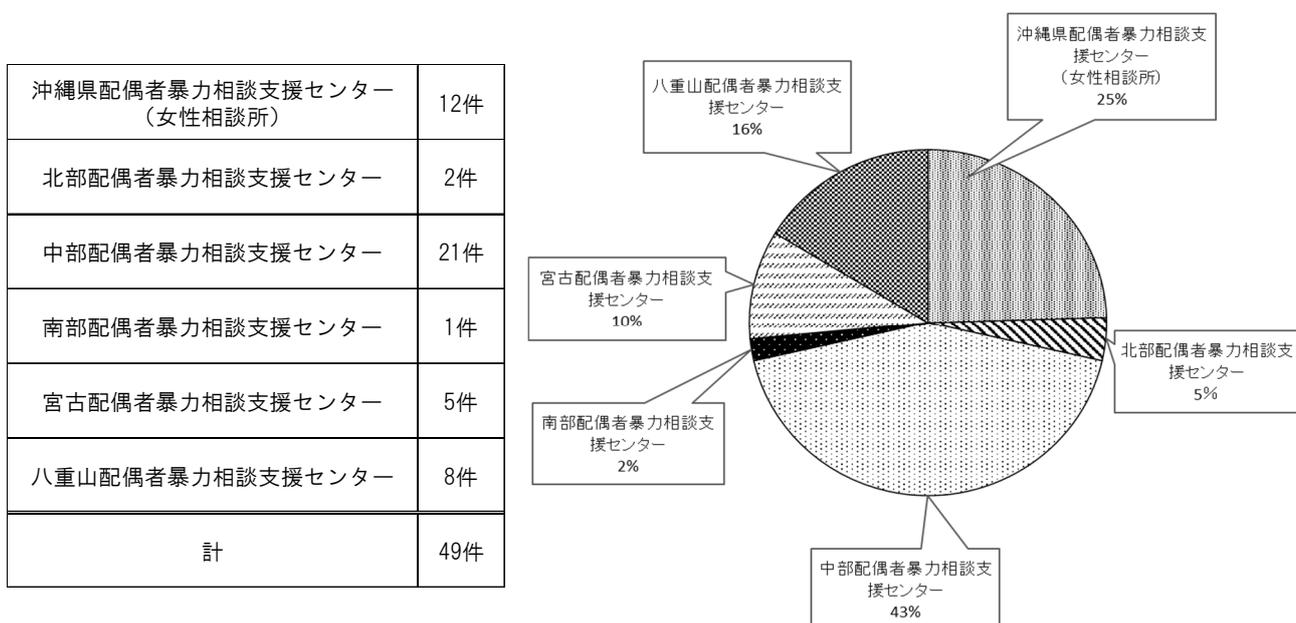
各福祉事務所にも配偶者暴力相談支援センターの機能が付与されており、より身近な地域において迅速にDV被害者の保護命令制度の活用が図られるようになっている。

裁判所から書面提出を求められた件数

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
56件	51件	69件	56件	49件



支援センター別件数内訳（令和5年度実績）



15 沖縄県 DV 被害者自立支援事業

本県では、配偶者からの暴力についての相談件数や、保護命令発令件数が全国でも高順位（人口10万人当たりで換算した場合）であることから、本県の配偶者からの暴力の被害者に対する取組を強化するため、DV対策総合支援事業として相談体制等の強化事業や未然防止対策事業を平成23年度より実施している。その事業の一環として、各配偶者暴力相談支援センターでは、被害者に直接支援を行う「沖縄県DV被害者自立支援事業」を下記のとおり実施している。

沖縄県 DV 被害者自立支援事業の内容

- (1) 保護命令支援
裁判所に対し保護命令を申請するために必要な費用の支援
- (2) 住宅支援
一時保護を受けた被害者で住宅支援が必要な者に敷金・礼金等初期費用を支援
- (3) 医療費支援
被害者がDVに起因する怪我等の治療に要する費用や心身の健康を回復するためのカウンセリングに要する費用の支援
- (4) 同伴児童支援
乳幼児を同伴する被害者が就労支援や裁判所等を訪問するために当該乳幼児を保育所等に預けるために必要な費用の支援
- (5) 緊急食費支援
DV相談時において食事が必要な場合における食事代等の支援
- (6) その他
上記以外に被害者の自立支援に必要な費用として知事が特に認めた支援

【令和5年度実績】

配偶者暴力相談支援センター	保護命令		住宅支援		医療費支援		同伴児支援		緊急食費支援		その他		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
女性相談所	17件	110,569円	5件	250,000円	-	-	-	-	-	-	-	-	22件	360,569円
北部	3件	8,540円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3件	8,540円
中部	17件	99,616円	-	-	9件	141,280円	-	-	-	-	-	-	26件	240,896円
南部	1件	2,499円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1件	2,499円
宮古	4件	22,297円	-	-	1件	6,060円	-	-	-	-	1件	29,700円	6件	58,057円
八重山	7件	22,045円	2件	162,198円	6件	42,440円	-	-	-	-	-	-	15件	226,683円
合計	49件	265,566円	7件	412,198円	16件	189,780円	-	-	-	-	1件	29,700円	73件	897,244円

16 若い世代における恋人からの暴力（デートDV）に係る相談状況

10代～20代の未婚の男女間における交際相手からの暴力に係る相談件数は、下記のとおりである。

なお、本項目については、配偶者暴力相談支援センターで受けた相談数に、ているる相談室（沖縄県男女共同参画センター）で受けた相談数を加えて集計している。

(1) 男女別相談件数

【令和5年度実績】

性別	件数
女性	29件
男性	1件
合計	30件

(2) 経路別相談件数

【令和5年度実績】

経路	本人自身	教育関係	親族等	友人・知人	その他	合計
来所	2件	-	-	-	1件	3件
電話	11件	-	5件	1件	10件	27件
出張・巡回	-	-	-	-	-	-
合計	13件	-	5件	1件	11件	30件

(3) 機関別相談件数

【令和5年度実績】

機関名	本人自身	教育関係	親族等	友人・知人	その他	合計
沖縄県配偶者暴力相談支援センター（女性相談所）	3件	-	3件	1件	2件	9件
北部配偶者暴力相談支援センター	3件	-	1件	-	5件	9件
中部配偶者暴力相談支援センター	-	-	-	-	1件	1件
南部配偶者暴力相談支援センター	-	-	-	-	-	-
宮古配偶者暴力相談支援センター	7件	-	-	-	3件	10件
八重山配偶者暴力相談支援センター	-	-	-	-	-	-
ているる相談室	-	-	1件	-	-	1件
合計	13件	-	5件	1件	11件	30件

令和6年度
女性支援事業のあらまし（令和5年度実績）
令和6年8月発行

発行 沖縄県女性相談支援センター
TEL 098-854-1160（事務専用）
FAX 098-854-1177